

地下鉄事業者の基準単価・基準コスト等について

地下鉄事業者（地下鉄事業者とは、東京地下鉄株式会社、札幌市交通局、仙台市交通局、東京都交通局、横浜市交通局、名古屋市交通局、京都市交通局、大阪市交通局、神戸市交通局及び福岡市交通局の10社の総称です。）の基準単価・基準コスト等は、次のとおりです。

1. 基準単価

平成17年8月1日以降に地下鉄事業者が運賃改定の申請を行う場合の基準単価の算定は、次式により行います。

$$\text{基準単価 } y = ax_1 + (bx_2) + c$$

(1) 線路費

$$y = \text{線路延長1キロ当たり基準単価}$$
$$a = 18,229.651$$
$$x_1 = \text{車両密度（対数）}$$

$$c = -79,041.523$$

（線路費とは、線路や路盤の維持補修、作業管理に要する経費です。）

(2) 電路費

$$y = \text{電線延長1キロ当たり基準単価}$$
$$a = 7.295$$
$$x_1 = \text{電車密度}$$

$$b = 86.134$$
$$c = -449.093$$

$$x_2 = \text{電車線割合}$$

（電路費とは、電車線や信号設備等の維持補修、作業管理に要する経費です。）

(3) 車両費

$$y = \text{車両1両当たり基準単価}$$
$$a = 7.217$$
$$x_1 = \text{1両当たり輸送人員}$$

$$c = 2,168.121$$

（車両費とは、車両の整備補修、作業管理に要する経費です。）

(4) 列車運転費

$$y = \text{営業キロ当たり基準単価}$$

$$a = -215.596$$
$$b = 200,489.009$$
$$c = -876,618.280$$

$$x_1 = \text{ワンマン運転営業キロ割合}$$
$$x_2 = \text{列車密度（対数）}$$

（列車運転費とは、列車の運転や作業管理に要する経費です。なお、動力費は含まれていません。）

(5) 駅務費

$$y = \text{1駅当たり基準単価}$$

$$a = 165,950.995$$

$$x_1 = \text{1駅当たり乗車人員（対数）}$$

$$c = -1,219,820.332$$

（駅務費とは、駅の維持や乗車券の発行等に要する経費です。）

2. 地下鉄事業者の平成16年度の基準単価、基準コスト、実績コスト等の状況

平成16年度の基礎データに基づき算定した基準単価、平成16年度の施設量及び基準単価に施設量を乗じて算定された基準コストの合計額並びにそれに対応する実績コストの合計額は、以下のとおりです。

なお、基準コストは、鉄軌道業の各種経費のうち、各社共通で比較可能な線路費、電路費、車両費、列車運転費及び駅務費の5費目（ヤードステイック対象経費という。）についてその基準となるコストを示すものであり、輸送サービスの質や事業全体の評価を行うものではありません。

ちなみに、地下鉄事業者の鉄軌道業の営業費用に占めるヤードステイック対象経費の割合は10社平均で、52%です。

(1) 基礎データ

	線路費	電路費		車両費	列車運転費		駅務費
	x1	x1	x2	x1	x1	x2	x1
東京地下鉄	6.469	466.886	19.344	825.367	12.773	5.128	9.422
札幌市	5.899	300.842	16.899	516.199	0.000	4.803	8.336
仙台市	5.458	163.957	23.923	651.369	100.000	4.761	8.077
東京都	6.207	365.197	18.616	677.839	61.651	4.924	8.853
横浜市	5.774	289.117	14.763	719.066	0.000	4.683	8.542
名古屋市	5.942	306.632	24.185	531.065	18.213	4.891	8.349
京都市	5.758	249.831	20.657	540.162	49.632	4.715	8.272
大阪市	6.117	373.480	14.742	693.682	12.976	4.925	8.923
神戸市	5.734	218.337	15.566	503.423	25.817	4.708	8.301
福岡市	5.778	141.673	28.938	676.981	100.000	4.807	8.426

(2) 基準単価

基準単価は、(1)の基礎データを基準単価算定の式に代入して求めます。

(単位：千円)

	線路費	電路費	車両費	列車運転費	駅務費
東京地下鉄	38,886	4,623	8,125	148,736	343,770
札幌市	28,495	3,201	5,894	86,330	163,547
仙台市	20,456	2,808	6,869	56,350	120,566
東京都	34,110	3,818	7,060	97,298	249,344
横浜市	26,216	2,932	7,358	62,272	197,733
名古屋市	29,279	3,871	6,001	100,047	165,705
京都市	25,925	3,153	6,066	57,987	152,926
大阪市	32,469	3,545	7,174	107,993	260,960
神戸市	25,487	2,484	5,801	61,718	157,739
福岡市	26,289	3,077	7,054	65,573	178,483

(3) 施設量

	線路延長	電線延長	車両数	営業キロ	駅数
	(キロ)	(キロ)	(両)	(キロ)	(駅)
東京地下鉄	394.0	2,813.8	2,515	183.2	168
札幌市	96.0	688.8	396	48.0	49
仙台市	29.5	176.4	84	14.8	17
東京都	228.1	1,665.2	1,094	109.0	106
横浜市	81.4	613.7	228	40.4	32
名古屋市	176.3	904.7	756	86.2	95
京都市	56.1	344.2	210	27.2	29
大阪市	236.2	1,945.5	1,200	115.6	111
神戸市	61.6	560.2	208	30.6	26
福岡市	43.5	342.8	155	19.7	23

(4) 基準コスト合計額
及び実績コスト合計額

	基準コスト	実績コスト
	(百万円)	(百万円)
東京地下鉄	133,765	131,146
札幌市	19,432	17,969
仙台市	4,559	4,729
東京都	58,898	54,124
横浜市	14,454	12,632
名古屋市	37,567	34,332
京都市	9,826	11,306
大阪市	64,625	73,643
神戸市	10,158	9,927
福岡市	8,689	7,531

(注) 「基準コスト合計額」は、線路費、電路費、車両費、列車運転費及び駅務費のそれぞれについて(2)基準単価に(3)施設量を乗じて算定した基準となるコストの合計であり、実績コスト合計はそれに対応する実績の支出額です。